



地産地消で高知県を元気に！ ～私たちに出来ること～

高知県立高知西高等学校

○背景

・地産地消とは・・・地元で生産されたものを地元で消費すること。生産者と消費者を結ぶ懸け橋としての役割をもつ。

○目的

高知県内の地産地消を促し、高知県を活性化させるために、自分たちでもできることを考えようと思ったから。

○プロジェクトの目標

高知県産の食材、及び地産地消の魅力を多くの人に知ってもらい、高知県の活性化に繋げる。

○高知県庁地産地消・外商課 訪問！

<訪問の目的>

現在の高知県の地産地消の現状や課題、高知県が行っている企画を知る。

<現状と課題>

高知県産の食材を原料として製造する加工食品は無添加、安心・安全にこだわり、ほとんど手作業で製造されている。

人件費や原材料費の値段が高くなってしまい、結果的に大手企業の加工食品より高価になってしまうため、思うように売れない。

<高知県が行っていること>

- ・学校給食による地産地消。
 - ・様々なキャンペーン、プロジェクトの実施。
- 例：食べて！遊んで！高知家応援プロジェクト
地産地消の店
「今日はさかなにしよう」推進パートナー店



<感じたこと・学んだこと>

- ・高知県産の商品が製造される背景を知る機会がない故に、商品の魅力を十分に発信できていないと思った。
- ・高校生だからこそSNS等を利用して地産地消の事業に貢献できることがあるのではないかと考えた。

○成果・まとめ

ポスター作成を通して、若者が地産地消に興味が無く、高知県の活性化に向けて地域に貢献していく当事者である意識が足りないことが一番の課題であると思った。このことから、高知県産の食材の魅力を再確認し、SNS等を通して発信していくことが重要だと考えた。

○参考文献

- ・久保田アイス公式ホームページ(掲示用ポスターにて使用)
www.kochi-ice.com
- ・国際連合広報センター
主な活動 経済社会開発 持続可能な開発 2030アジェンダ SDGsのポスター・ロゴ・アイコンおよびガイドライン
https://www.un.org.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

11 住み続けられるまちづくりを



←地産地消で地域に貢献することで、地域内でお金が廻り、地域の活性化など、その地域の発展に繋がり、活気に満ちた住みやすいまちづくりが可能になる。

→より安心安全な食材を提供し、見極める力をつけ、生産者と消費者が共に支え合い、つくる責任、つかう責任が芽生える。

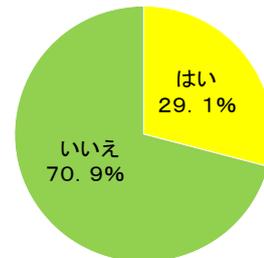
12 つくる責任 つかう責任



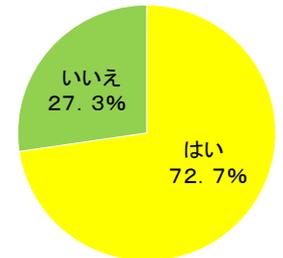
○ポスターによる呼び掛け



↑地産地消を呼びかけるポスターを作成、掲示。その後、認知・理解度についてアンケートを実施。



Q1. 掲示されていたポスターを見たか。



Q2. ポスターを見て地産地消に協力したいと思ったか。

～ポスターに関する意見～

<プラスの意見>

- ・高知県の経済、商品の売りに貢献したいと思った。
- ・地産地消の良いところ、値段が高い理由が分かった。
- ・地産地消に関してさらに知識を深めたいと思った。

<マイナスの意見>

- ・ポスターを見ても地産地消に協力したいと思わなかった。
- ・高知県産の商品の魅力をもっと紹介して欲しい。